

事業所名

のびまる放課後等デイサービス磯子

支援プログラム

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		わん株式会社では、高齢者デイサービスや放課後等児童デイサービスを通じ、「未来」の幸せを「もっと」創造し、豊かな暮らしをサポートしていきます。			
支援方針		<p>のびまる磯子では日々の活動の中で集団での取り組みに注力している。外出した際は遊具や身体を活かして粗大運動を行うことで保有する感覚を統合した支援と身体活動量を増加していくことで健康状態の維持や改善を行っている。他にもグループ遊びを通して他者との関わりを形成し仲間づくりと集団への参加やコミュニケーション手段の選択と活用が出来るように支援している。</p> <p>また、個別支援では発達段階に合わせ、保有する感覚を十分に活用して必要な情報を抽出し認知機能への発達を促す。他にも、時間などの概念を形成することで認知や行動の手がかりとして活用できるように支援している。</p>			
営業時間		学校がある日 13時30分から	17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	専門職員を中心に個々に合った身体活動量の調整を行うことで基本的な生活リズムが身に付けられるように支援していく。他にはADLの自立や能力向上を目指して衣服の着脱の仕方や絵カードなど児童一人ひとりに合った教材を用いて支援する。			
	運動・感覚	専門職員によるアセスメントをもとに「感覚が過敏か鈍麻か」「音韻意識はどの程度か」「空間認知能力の程度」など一人ひとりの状態を把握したうえで保有する感覚器に適切な刺激を入力し、感覚統合を行っていく。また、粗大運動は屋内・屋外問わず児童が楽しく取り組めるような工夫をしていく。微細運動（手の巧緻運動）などは児童が興味をもてるような教材を取り入れて行う。			
	認知・行動	児童の将来に向けて金銭面の管理や時間の把握が出来るように概念形成の習得を目指していく。他にも視覚や聴覚を十分に活用して周囲の状況が把握できるように眼球運動の訓練や集団活動を通して指示が適切に聞けるように支援する。			
	言語コミュニケーション	他者とのコミュニケーションが円滑に行えるように「言語の習得」「文字の理解」「コミュニケーションツールの活用」を目指していく。専門職員を中心に「受容言語」や「表出言語」がどの程度の理解力が評価し、個々に合った支援を行っていく。			
	人間関係 社会性	活動での外出頻度が多いので外出を通して公共施設の利用の仕方やマナーを習得し、社会性を身に付けられるように支援していく。また、集団活動の中でコミュニケーション手段の選択と活用を活かして他者との関りの頻度を増やし、人間関係の形成を目指す。			
家族支援		時間や数の概念形成や運動習慣を身に付けるためには頻度を増やす必要があるため、ご家庭でも事業所と同じ様式の教材を用いて児童が混乱しないように工夫していく。	移行支援	進学や就労を視野にいれた移動の仕方を習得するために、自宅と目的地の距離間や時間、金銭面の管理が出来るように買い物体験や公共交通機関の利用を支援の中でも取り入れていく。	
地域支援・地域連携		地域主催の行事に参加することで、事業所以外の人との交流機会を増やす		職員の質の向上	事業所内での研修・他事業所の研修への参加
主な行事等		クリスマス会・10kmウォーク・避難訓練			